

★編集と発行 新潟県新潟市役所 本町2丁目2番1号 956

代 4-2111 回毎月1日・15日発行 回印刷所 株式会社北都



大海めざして

例年にない厳しい冬もようやく終わり、水ぬるむ頃となりましたが、さる四月六日、小阿賀野川で今年最後の鮭の稚魚の放流が行われました。放流したのは阿賀野川漁協の皆さんで、満日小の五、六年生と三中の生徒もお手伝いです。この日放流されたのは、体長四、五センチに育った鮭の稚魚二十万尾。二月七日の第一回放流から数えて、全部で四百十万尾を放流したことになるそうです。漁協の皆さんの話では、県内の河川で一番回帰率が良いのは阿賀野川とのこと。しかし、それでも回帰率は〇・三％にすぎないということです。自然の厳しさが思いやられます。この日も、春というには冷たすぎる烈風の中、稚魚は海をめざして旅立っていました。

おもな内容

- 「工場等設置奨励条例」を制定 2
- 三月議会的主な議決事項 3
- 今年度の下水道工事予定箇所 4
- 写真特集「球春に悔いはなし」 6・7

3月までの□救急車出勤状況■火災状況(内は58年中)

□火災 0 (0)	□交通 32 (25)	□労働災害 5 (1)	□運動競技 0 (2)	□一般負傷 35 (20)
□犯罪 3 (2)	□自損行為 3 (4)	□急病 110 (118)	□その他 43 (45)	■建物火災 4 (4)
■その他の火災 1 (2)	■焼損面数 4 (5)	■り災世帯数 3 (3)	■死者 0 (1)	■負傷者数 1 (1)